

平成29年8月

第687号



水土里ネット長崎だより

長崎県土地改良事業団体連合会



第9回 長崎の農業・農村写真コンテスト
部門優秀賞(農業景観)
「初秋の棚田」東彼杵郡波佐見町



～目次～

長崎県知事、自民党県連へ政策提案	2
九州農政局、農林水産省へ政策提案・要請活動	2
「農業農村整備の集い」開催	3
農林水産省、国会議員へ政策提案・要請活動	3
農林水産省、自民党幹部へ政策提案・要請活動	4
平成29年度 長崎県水土里情報連絡協議会総会	5
平成29年度 九州協議会・九州農業農村整備事業推進協議会合同会議	5
平成29年度 九州協議会農業農村整備研修会	5
平成29年度 第1回監事会	6
長崎県管理運営体制強化委員会、長崎県受益農地管理強化委員会	6
土地改良法等の一部を改正する法律について	7
南島原市 宮中献穀事業に係るお田植祭	8
水土里ネットおあげ 農村環境保全活動	8
平成29年度 長崎県耕地関係機関対抗ソフトボール大会	8
第23回全国棚田(千枚田)サミットについて	9
第71回全国お茶まつり長崎大会 in SASEBOについて	9
第40回全国土地改良大会静岡大会について	9
春の叙勲「旭日単光章」受章おめでとうございます	10
会議と行事	10
会員土地改良区の皆様にお願ひ	10

平成29年度農業農村整備事業に対する要請活動 長崎県知事、自民党県連へ政策提案

長崎県農業農村整備事業推進協議会(会長：宮本明雄諫早市長)及び長崎県土地改良事業団体連合会並びに地域農業農村整備事業推進協議会は、総勢38名で、5月24日(水)に知事へ政策提案・要請を行いました。

濱本副知事は、「農業農村整備事業予算の執行は、上半期85%を予定している。また、国の平成29年度当初予算は近年と比較し増加しており、県としても来年度以降の当初予算確保の要望をいっそう強く取り組んで参りたい」と力強い回答を頂きました。

また、長崎県会議長、自民党長崎県連へも政策提案・要請を行いました。要請内容の説明後、事業実施中の改良区からは、計画的な事業実施のためには、当初予算での確保が必要であることが訴えられ、平成29年度農業農村整備事業予算の早期執行、平成30年度国の農業農村整備事業当初予算の確実な確保等について要望を行いました。

【 要 請 内 容 】

- 一、平成29年度農業農村整備事業当初予算における県の早期執行
- 一、現在事業実施地区の事業効果の早期発現のために国の平成29年度農業農村整備事業予算の追加措置
- 一、農業生産基盤の計画的な整備を行うために国並びに県の平成30年度農業農村整備事業当初予算の増額確保
- 一、県の農業農村基盤整備事業新規地区の強力な推進
- 一、地域農業水利施設ストックマネジメント事業の県費補助等による農業水利施設の更新・保全対策に対する支援



濱本啓毅穂：長崎県副知事へ要請
(古川隆三郎副会長より)



協議会より馬鈴薯を贈呈
(有喜土地改良区淹理事長より)



長崎県議会（田中議長）へ要請

九州農政局、農林水産省へ政策提案・要請活動

九州農業農村整備事業推進協議会（是永修治会長：大分県農業農村整備事業推進協議会長）及び土地改良事業団体連合会九州協議会（義経賢二会長：水土里ネット大分会長）は、農業農村整備事業予算確保等を求めるため合同政策提案活動を国に対して行いました。

6月29日(木)、両協議会より38名が参加し、九州農政局に対し合同の政策提案・要請活動を実施しました。金丸康夫：九州農政局長をはじめ幹部の方々17名に出席を頂き、九州地域における農業農村整備事業の強力な推進と予算の確保を要望し、意見交換会を行いました。

7月12日(火)、同協議会より42名が参加し、農林水産省に対して、農業農村整備事業の当初予算の確保を要請しました。山本有二：農林水産大臣と岡本薫明：財務省主計局長との面談では、九州・沖縄の現状と課題並びに九州の農業農村整備事業の効果について説明し、予算確保などの要望内容について十分理解を示していただきました。



山本有二：農林水産大臣へ要請

『農業農村整備の集い』開催 ～農を守り、地方を創る予算の確保に向けて～

平成29年6月26日（月）、シェーンバッハ・サポー（東京都千代田区）において、全国土地改良事業団体連合会主催で「農業農村整備の集い」が開催されました。

この集いは、全国から農業農村整備関係者が一堂に会し、それぞれの現場で直面している喫緊の課題を再確認し、これらの諸課題に緊急に対応するべく、農業農村整備事業の一層の充実と推進を期することを目的に開催されました。

「集い」には、山本有二農林水産大臣をはじめ多くの衆参両院の国会議員や農林水産省の幹部らを来賓に迎え、全国の土地改良区並びに市町村、都道府県水土里ネットなど1200名を超える参加があり、長崎県からは17名が参加しました。

「集い」では、二階俊博全国水土里ネット会長の挨拶の後、山本有二農林水産大臣は「全国の事業ニーズは依然大きい。安定的な予算確保は重要な課題だ。今後とも最大限の予算確保に努める」と述べられました。また、西川公也自民党農林水産戦略調査会長、井上義久公明党幹事長、宮腰光寛自民党食料産業調査会長、進藤かねひこ都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問が祝辞を述べられ、その後、農業農村整備事業予算の情勢報告、農業農村整備事業の取り組みについての事例発表が行われました。

おわりに「改正土地改良法を積極的に活用した現場適合性の高い柔軟な事業の創設と現場への普及」と「現場のニーズに十分応えられる規模の平成30年度当初予算の確保」などの要請書が提案され、満場一致で採択しました。最後にガンバロウ三唱を参加者全員で声高らかに唱和して、集いを閉会しました。



二階俊博：全国水土里ネット会長の挨拶

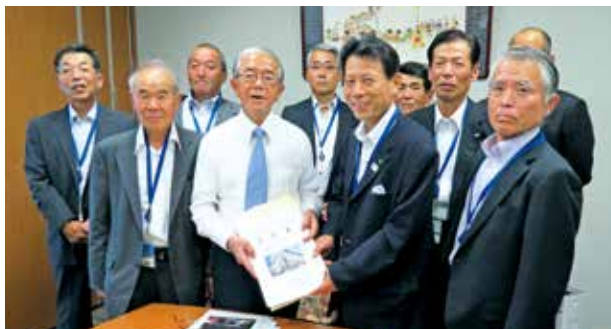


山本有二：農林水産大臣の来賓祝辞

農林水産省、国会議員へ政策提案・要請活動

長崎県農林部、長崎県土地改良事業団体連合会及び関係土地改良区は、農業農村整備の集い終了後、農林水産省、国会議員に対し要請活動を行いました。

松尾一郎：水土里ネット長崎副会長より、本県の農業農村整備事業予算の状況を説明し、平成30年度農業農村整備事業当初予算の増額等を要望しました。



金子原二郎：参議院議員への要請



進藤かねひこ：参議院議員への要請

平成29年度 本県の農業農村整備事業に関する国への要請活動 農林水産省、自民党幹部へ政策提案

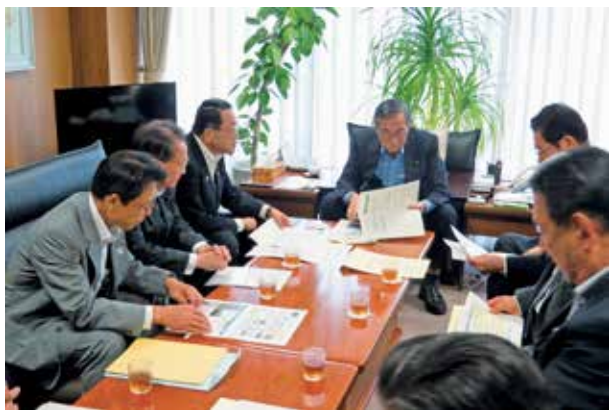
長崎県農業農村整備事業推進協議会（会長：宮本明雄諫早市長）、長崎県土地改良事業団体連合会、自民党県議団土地改良事業推進議員懇話会（会長：徳永達也県議）及び長崎県の総勢13名は、本県選出の加藤寛治衆議院議員、北村誠吾衆議院議員とともに、7月19日（水）に農林水産省幹部へ政策提案・要請を行いました。

斎藤健農林水産副大臣からは、「基盤整備の効果の中で、幼稚園児や小学校の児童が増加しているという効果事例は長崎県がはじめてであり、素晴らしい」と力強い言葉を頂きました。

また、細田博之自民党総務会長、森山裕自民党政調会長代理と面談し、本県の実情を説明し、平成30年度農業農村整備事業当初予算の増額確保等について要請活動を行いました。

【 要 請 内 容 】

- 一、農業生産基盤の計画的な整備を行うために必要な、国並びに県の平成30年度農業農村整備事業当初予算の増額確保
- 一、老朽化した農業水利施設の長寿命化、防災・減災対策を講じるために、国並びに県の平成30年度農業農村整備事業当初予算の増額確保



細田博之：自民党総務会長へ要請



森山裕：自民党政調会長代理へ要請



斎藤健：農林水産副大臣へ要請



農村振興局：室本農村振興局次長へ要請

平成29年度 長崎県水土里情報連絡協議会総会

6月19日（月）、土地改良会館において、県、市町、土地改良区、農業関係団体が会員となる長崎県水土里情報連絡協議会の平成29年度の総会が開催されました。

開会にあたり、松尾会長（県土連副会長）から「今後も更なる利用団体の拡大と水土里情報システムの利便性向上に努めて参りたい」と挨拶がありました。

挨拶の後議事に入り、各議案とも原案どおり可決承認されました。議事内容は以下のとおりです。

議 事

第1号議案：平成28年度事業報告の承認を求める件

第2号議案：平成29年度事業計画の承認を求める件



平成29年度九州協議会・九州農業農村整備事業推進協議会合同会議

5月31日（水）、大分市内（大分オアシスタワーホテル）において、九州各県より協議会役員、県職員、連合会役職員44名出席のもと、平成29年度の合同会議が開催されました。

会議では、九州農業農村整備事業推進協議会：是枝修治会長（大分県農業農村整備事業推進協議会会長・宇佐市長）挨拶の後、議事に入り、平成28年度推進協議会事業報告及び平成29年度政策提案活動（案）について協議が行われました。



是枝会長（九州農業農村整備事業推進協議会長）

平成29年度 九州協議会農業農村整備研修会

5月31日（水）、大分市内（大分オアシスタワーホテル）において、平成29年度農業農村整備研修会が開催されました。

土地改良事業団体連合会九州協議会：義経賢二会長（水土里ネット大分会長）の挨拶の後、情勢報告として、中村昌孝：九州農政局農村振興部水利整備課長より、平成29年度農業農村整備事業予算や土地改良法改正による制度の見直しについて情勢報告が行われました。

続いて、久本純造：小豆崎土地改良区理事長が、平成28年度農業農村整備優良地区コンクール（農業生産基盤整備部門）で農村振興局長賞を受賞した小豆崎地区の事例を紹介され、研修会は盛会の内に終了しました。



事例発表
（久本純造：小豆崎土地改良区理事長）

平成29年度 第1回監事会

7月6日（木）、土地改良会館において、大久保純三監事（竜尾川土地改良区理事長）、川口規一監事（牟田土地改良区理事長）出席のもと本年度の第1回監事会が開催されました。

監査立会人のもと審議を行い、各議案は原案どおり可決承認されました。また、監査については、厳正な監査の結果、適正に処理されていることが報告されました。

議 事

第1号議案：平成29年度監査の実施計画に関する件について

第2号議案：平成28年度監査結果に対する措置に関する件について

第3号議案：平成28年度決算監査に関する件について



長崎県管理運営体制強化委員会

6月12日（月）、土地改良会館において、長崎県管理運営体制強化委員会が強化委員8名の出席により開催されました。議事内容については審議の結果、全て承認されました。

【議事内容】

- 1) 長崎県土地改良事業団体連合会内規の改正・会則の制定について
- 2) 平成28年度事業実績報告並びに収入支出決算額について
- 3) 平成29年度事業実施計画並びに収入支出予算について
- 4) 平成30年度施設・財務管理強化対策について



【強化委員】

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| ○藤原武生（九州農政局土地改良管理課課長） | ○朝長義之（波佐見町農林課長） |
| ○森高一久（長崎県農村整備課参事） | ○柏野龍一郎（三会原土地改良区事務局長） |
| ○荻野大輔（長崎県農村整備課課長補佐） | ○吉川靖（日本政策金融公庫農業食品課課長） |
| ○今里直樹（長崎県農業経営課課長補佐） | ○松尾一郎（水土里ネット長崎専務理事）※委員長 |
| ○辻野秀樹（西海市農林課長） | ○本川義一（水土里ネット長崎事務局長） |

長崎県受益農地管理強化委員会

6月12日（月）、土地改良会館において、長崎県受益農地管理強化委員会が強化委員7名の出席により開催されました。議事内容については審議の結果、全て承認されました。

【議事内容】

- 1) 平成28年度事業実績報告並びに収入支出決算額について
- 2) 平成29年度事業実施計画並びに収入支出予算について
- 3) 換地処分遅延地区等の解消に向けた取り組みについて



【強化委員】

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| ○藤原武生（九州農政局土地改良管理課課長） | ○柏野龍一郎（三会原土地改良区事務局長） |
| ○田川康司（長崎地方法務局統括登記官） | ○松尾一郎（水土里ネット長崎専務理事）※委員長 |
| ○荻野大輔（長崎県農村整備課課長補佐） | ○成末昭彦（水土里ネット長崎技術部長） |
| ○辻野秀樹（西海市農林課長） | ○田添孝治（水土里ネット長崎換地課技師） |

土地改良法等の一部を改正する法律について

(ア)農地中間管理機構が借り入れている農地について、農業者の申請・同意・費用負担によらず、都道府県が基盤整備事業を実施できる制度や、(イ)農業用排水施設の耐震化や土地改良施設の突発事故への対応について、原則として、農業者の申請・同意・費用負担によらず、国又は地方公共団体が事業を実施できる制度を創設すること等を規定する「土地改良法等の一部を改正する法律」が、平成29年5月26日（金）公布されました。
なお、施行期日は交付日から6ヶ月以内です。

背景

(ア)高齢化の進行に伴い、農地中間管理機構への貸付けは増加する見込みであり、その際、基盤整備が十分に行われていない農地については、担い手が借り受けないおそれがある。一方、農地中間管理機構に貸し付けた所有者は基盤整備のための費用を負担する用意はなく、このままでは基盤整備が滞り、結果として、担い手への農地の集積・集約化が進まなくなる可能性がある。
(イ)国土強靱化基本法を踏まえ、国・地方公共団体の判断による、農業用排水施設の耐震化事業の迅速な実施が求められている状況にあり、土地改良施設の突発事故が年々増加している。
よって、農用地の利用集積の促進、防災・減災対策の強化等に資するよう、土地改良制度の仕組みを見直す必要がある。

法案の概要

農用地の利用の集積の促進に関する措置

（土地改良法・農地中間管理事業法）

- 農地中間管理機構が借り入れている農地について、農業者からの申請によらず、都道府県営事業として、農業者の費用負担や同意を求めない基盤整備事業を実施できる制度を創設

〔 第87条の3、第91条、第91条の2及び第92条の2 〕

公共性・公益性の観点から、

- ① 農地中間管理機構が借り受けている農地で、かつ、一定規模以上の面的まとまりがあること
- ② 農地中間管理機構の借入期間が相当程度あること
- ③ 担い手への農用地の集団化が相当程度図られること
- ④ 事業実施地域の収益性が相当程度向上することを要件とする。
併せて、農用地区域からの除外規制強化のための措置等を講ずる。

防災及び減災対策の強化に関する措置

（土地改良法）

- 農業用排水施設の耐震化を目的として国又は地方公共団体が急速に行う土地改良事業の創設

（第87条の4）

〔 事業参加資格者の申請なく実施できることとし、その費用負担・同意は原則として不要 〕

- 土地改良施設の突発事故被害の復旧事業に係る手続の簡素化

〔 第2条、第49条及び第87条の5 〕

- 除塩事業を土地改良法上の災害復旧事業として位置付け

（第2条）

事業実施手続の合理化に関する措置

（土地改良法・水資源機構法）

- 国又は都道府県が行う土地改良事業の申請人数の要件（15人以上）の廃止

（第85条）

- 技術革新等に起因する機能向上を伴う土地改良施設の更新事業における手続の簡素化

〔 第48条、第85条の3及び第87条の2 〕

- 土地に共有者がある場合等、合わせて一人の事業参加資格者とみなすとともに、代表者一人を選任する等の措置

（第113条の2）

南島原市 宮中献穀事業に係るお田植祭

宮中献穀事業は、全国都道府県の農家代表が毎年10月下旬に宮中において天皇皇后両陛下に謁見し、献穀米を献上しているものです。今年度は県内で南島原市加津佐町津波見地区が選ばれ、6月25日（日）にお田植祭が開催されました。

松本政博南島原市長は挨拶で「本市が合併後初めてとなる名誉ある宮中献穀事業に選ばれた事に対し感謝を申し上げる。秋に皇居で開催される新嘗祭には立派なお米が献上できるよう、奉公者はじめしっかりと抜き穂祭りができるよう田植えを行って参りたい」と述べられました。



水土里ネットおあげ 農村環境保全活動

5月21日（日）、南島原市西有家町の尾上地域資源保全活動組織の農村環境向上活動の一環として、地域清掃が行われました。当活動は毎年開催されており、尾上土地改良区の組合員や、地元小学生やPTAなど一緒に、地域の空き缶と塵回収を行いました。

また、作業終了後は組合員のイチゴハウスにて、参加者全員でイチゴ狩りを楽しみました。



平成29年度長崎県耕地関係機関対抗ソフトボール大会

7月22日（土）、みずほすこやかランド多目的グラウンド（雲仙市瑞穂町）において、長崎県耕地関係機関対抗ソフトボール大会が開催されました。

本大会は、ファーストピッチ（F.P）とスローピッチ（S.P）の2種目に分かれ、炎天下の中、熱戦が繰り広げられました。結果は、以下のとおりです。



FPTーナメント表

I 県北	6	
II 県央A	12	7
III 農村整備課	7	7
IV 玄海(杵岐・対馬)	3	5
V 島原A	2	5
VI 土地改良連合会	13	5
		県央A

SPTーナメント表

1 県央B	0	
2 島原B	1	10
3 五島	12	10
4 農政課	9	18
5 農村整備課	17	18
6 島原C	1	5
		五島

第23回全国棚田（千枚田）サミットについて

本県では2008年の長崎・雲仙市共同開催以来、2回目の「全国棚田（千枚田）サミット」が9月28、29日に波佐見町で初めて開かれます。

県内からは「日本の棚田百選」に認定された棚田のある長崎市や雲仙市、川棚町などの関係者が参加される予定です。参加者は分科会のほか、鬼木棚田や窯元が連なる陶郷・中尾山を視察する予定となっています。

【詳細は棚田サミット実行委員会事務局まで】

第23回全国棚田(千枚田)サミット事務局(波佐見町役場農林課内)

電話：0956-80-6655（直通）

HP：http://www.town.hasami.lg.jp/yakuba/nousei/tanada_summit_moushikomi.htm



第71回全国お茶まつり長崎大会 in SASEBOについて

味や香り、見た目などで品質を競う「全国お茶まつり長崎大会」が11月11日、12日に佐世保市をメイン会場に本県で初めて開かれます。日本茶の消費拡大を目的とし、優秀な茶の展示をはじめ、茶の試飲会、その他茶にまつわる関連の展示、商品の販売等で、消費者も参加して毎年賑わいを見せています。

また、大会に先立ち9月5日から8日には「全国茶品評会」が大村市で開催される予定です。

【詳細は第71回全国お茶まつり長崎大会実行委員会まで】

第71回全国お茶まつり長崎大会実行委員会

(佐世保市農林水産部農業畜産課)

電話：0956-24-1111

HP：http://www.city.sasebo.lg.jp/nourinsuisan/nouchiku/dai71_zenkokuochamaturi_index.html



第40回全国土地改良大会静岡大会について

来たる10月25日(水)、静岡県において、第40回全国土地改良大会静岡大会が、『「ふじのくに」で語ろう 土地改良が創る豊かな水土里を』をテーマに開催されます。

日程は以下のとおりとなっております。

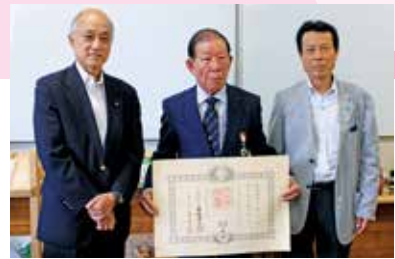
日	時：式典：10月25日(水)
	事業視察：10月26日(木)
会	場：ふじのくに千本松フォーラム
	ブラサ ヴェルデ(静岡県沼津市)



春の叙勲「旭日単光章」受章おめでとうございます

平成29年春の叙勲で、小林茂俊様（鬼岳土地改良区理事長）が土地改良事業功労での「旭日単光章」を受章されました。

小林様は、平成11年2月より鬼岳土地改良区の理事長として、農業経営の安定合理化を図るため、土地改良事業の計画段階から基盤整備の推進活動や各農家への説明を行うなど、事業への理解を得、事業実施に貢献されました。



小林茂俊様（長崎県庁農林部）へ受章報告

また、平成16年8月からは五島市農業委員会会長として、遊休農地の把握に努め、耕作放棄地解消に積極的に取り組まれ、さらに、平成18年10月から福江地区土地改良区連絡協議会委員長として、平成21年4月からは五島地区土地改良区連絡協議会委員長として、事務の効率化を図るなど、土地改良区の強化のためにご尽力され、五島市の農業振興に多大に寄与されました。

会議と行事

7月

- 6日 第1回監事会（長崎市：土地改良会館）
- 10日 第4回常設審議委員会（長崎市：農協会館）
- 12日 農林水産省、国会議員へ要請活動（東京都）
- 12日 九州協議会第1回技術担当者会議（宮崎市）
- 19日 農林水産省、国会議員へ要請活動（東京都）
- 20日 長崎県農地基盤整備地区連絡協議会総会（佐世保市）
- 21日 農村振興技術連盟委員会・総会・研修会（諫早市）
- 22日 平成29年度長崎県耕地関係機関対抗ソフトボール大会（雲仙市）
- 26日 九州地域施設管理事業連絡協議会（熊本県）

8月

- 7日 ながさき農林業大賞予備審査会（長崎市：長崎県庁）
- 8日 第21回換地システム開発作業部会（東京都）
- 23日 人口減少型社会における農業・農村の基盤づくり（東京都）

9月

- 11日 都道府県水土里ネット事務責任者会議（東京都）
- 14日 換地関係異議紛争処理実務研修会（兵庫県）
- 21日 水土里情報システム運用検討会（長崎市：土地改良会館）

会員土地改良区の皆様へお願い

本会会員加入時に加入届出書を提出頂いておりますが、住所並びに役職等の変更等があった場合は、変更届けを提出して下さいようお願い致します。

また、改良区主催でイベントなどを実施される場合は、本誌（水土里ネット長崎だより）に掲載したいと思っておりますので、本会までお気軽にお知らせ願います。



土地改良会館 〒850-0057 長崎市大黒町9番17号 TEL(095)823-3101・FAX(095)823-3102
 総務部：総務課・会員支援課・事業推進室 (E-mail: n.soumu.3101@ntr.or.jp)
 技術部：技術課・換地課 (E-mail: nagasaki.setukei@ntr.or.jp)

県央支所：〒854-0071 諫早市永昌東町25-37 TEL(0957)23-7645・FAX(0957)27-0025 ・ ☎ sisho02@ntr.or.jp
 島原支所：〒855-0036 島原市城内1丁目1185-1 TEL(0957)62-6424・FAX(0957)65-0618 ・ ☎ sisho03@ntr.or.jp
 五島支所：〒853-0032 五島市大荒町441-1 TEL(0959)72-5007・FAX(0959)72-5007 ・ ☎ sisho05@ntr.or.jp
 壱岐支所：〒811-5133 壱岐市郷ノ浦町本村触509-3 TEL(0920)47-0408・FAX(0920)48-1011 ・ ☎ sisho06@ntr.or.jp

ホームページ <http://ntr.or.jp>

水土里ネット長崎

検索

長崎県農地保全推進協議会 TEL(095)816-3636 ☎ nagasaki.nkyougikai@ntr.or.jp

【本誌に関するお問合せやご質問などは、水土里ネット長崎総務課までお願い致します】